R3.8.31 発行

## 今月の子どもの様子つぶやきをお伝えします。 「いれて!」・「いいよ!」

育っている姿(ごっこ遊びの楽しさ・自分なりの言葉で思いを伝える)



室内でフープ・平均台・マット・トランポリンなどを使って運動遊びをしている時のことです。A 君がフープを手に持ち「ぷっぷー!」とハンドルに見立てて回し始めました。すると B 君が「バスに乗ってゆられてる~♪」と歌いながらハンドルをクルクル。C ちゃんも平均台にまたがり、同じように歌いながらバスごっこを楽しみ始めました。それを見ていた子ども達も一緒に平均台のバスに乗りだしました。保育者が「バスにのって」の音楽をかけるとみんなで一緒に歌いながらバスごっこを楽しんでいました。それを傍でずっと見ている D ちゃん。しばらくして保育者が D ちゃんに「どうしたい?」と声を掛けると「乗る」とバスに乗りたい気持ちを伝えてきました。「いれて、って言ってみたら」と知らせると不安そうな顔をしていましたが、自分から声に出して「いれて!」とバスに乗っている友達に声を掛けることができました。それを聞いていた数人の子どもがすぐに「いいよ!」と返事をして、D ちゃんはバスに乗り、とても嬉しそうな笑顔でバスごっこを一緒に楽しむことができました。また、自分の気持ちを言葉で伝えられたことで満足感も得られているようでした。

友達と関わりながら遊ぶことが増えてきている中で、自分の気持ちや思いを言葉にして相手に伝えることは難しいことですが、保育者が仲立ちとなり言葉を一緒に言ったり知らせたりしながら、自分なりの言葉で伝えられるように、これからも援助していきたいと思います。